

「作って食べるとおいしいね！」

～様々な経験を通して～

伊那市西春近北保育園





外あそびだいすき～





畑づくり



保育士の願い

- 作物の成長の不思議、収穫する喜び、食べる楽しさなどを感じながら、食に対してさらなる興味関心を広げ、『生きる力』につなげたい。
- 地域交流を大切にし、地域の方々と一緒に作物の世話や収穫やクッキングなどを経験することにより「地域の子ども」として地域に親しみ、育ちを見守っていききたい。

主な取り組み

- ①JA青壮年部との米作り
- ②高齢者クラブとのクッキング
- ③一年生とのさつまいも作り
- ④年長児の親子畑の取り組み
- ⑤年少児のミニトマト作り

JA青壮年部とのお米作り



田植え





稲刈り





餅つき



高齢者クラブの 方々との交流



ヨモギ、たくさん
摘もう！

草もち作り



ヨモギを
混ぜ込み
ます！



おばあちゃんたち
すごい！
色が変わってきた！

カレーパーティー



玉ねぎの皮むき
できるよ!



よ〜く見
てね」



こんなに
たくさんと
れたよ！



みんなで
おでんパーティだ！！



1年生と年長児

さつまいも植え



いも掘り



すご〜い！
保育園のより大きい！

保育園の畑づくり



年長さんが年少さんにやり方を教えます。



大変な時には年長さんだけでやります！



水やりや草取りは年長が主になってやります。

夏野菜を使ってピザ作り！





できるかな？



マルチの長さは
どれくらい？

年長の親子畑



早く
食べたいな！



工夫して
ステキな畑に！



いっぱいになったね！

年少(3歳児)
ミニトマト作り

ぼくたちが自分で運ぶんだ！



お～いしい！



【考察】

- ①年齢ごとに、作りたい野菜を子どもたちと一緒に考え、自分たちで育てたことで、野菜に興味を持つことができた。
- ②親子での栽培は、日々世話をしたり観察することができる年長ならではの活動であり、年中の頃から楽しみにしていた。成長や収穫の喜びも大きく、食べ物を大切にしたり食べることの喜びを感じる心を育むことができた。
- ③地域の方々と連携し一緒に行った活動は、子どもたちの心を大きく動かし、食への関心を増した。生きる力に繋がる活動になった。

【今後の課題と対策】

- ①“安全でおいしく楽しい食育活動”を進めるために、子どもの興味関心に寄り添いながら保育に見通しを持ち、食と遊びのつながりを意識した環境を整えていきたい。
- ②遊びや生活の中で「いっぱい遊んでお腹が空いた、食事がおいしい」と感じられる経験ができるようにしていきたい。
- ③今後も家庭と一緒に楽しめる活動を行い、子どもの様子や経過等を共有しながら、食の大切さを伝えていきたい。
- ④恵まれた環境を活かし、今後も小学校や地域の々との連携を大切にして、活動を継続させていきたい。



ご清聴ありがとうございました